

市東さんの農地死守・第3滑走路阻止

10・11全国集会へ



東峰会場にご参集を
市東孝雄さん

空港周辺住民のみなさん。私たちは10月11日、私の家のすぐ南、萩原富夫さんの畑で、全国総決起集会を開催します。多くの皆さんの参加をお願いします。私の農地を取り上げようとする「農地法裁判」は、最高裁に移りました。弁論は開かれないうため、ある日突然、不当判決ということもあります。集会に大勢来ていただき、不当判決を許さない勢い

を示したいと思います。

そして第3滑走路の問題です。9月17日、国交省、NAA、県、地元自治体は「4者協議会」を行い、第3滑走路推進へ動き始めました。とんでもない話です。成田の発着枠はあり余っているにもかかわらずもう一本の滑走路などまったく必要ありません。住民を追い出し騒音を拡大する第3滑走路に、地元から絶対反対をつきつけようではありませんか。

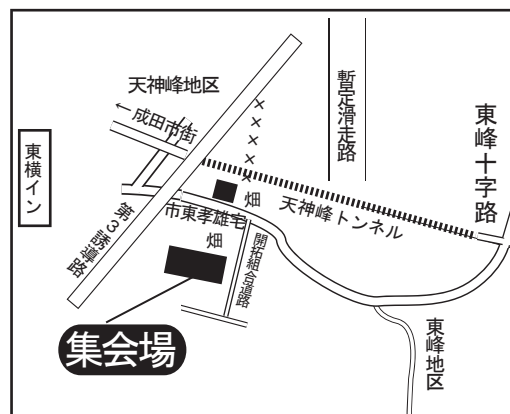
さらに、安保戦争法案を強行する安倍政権と対決する集会にしたいと思います。「朝鮮半島有事」となれば、成田は米軍の中継基地にされます。三里塚は50年間、戦争反対を一貫して訴えてきました。反戦をかかげて安倍政権と対決したいと思います。御参加よろしくをお願いします。

最高裁・5万人署名をお願いします

全国総決起集会

●10月11日(日)

●正午 成田市東峰
(萩原富夫さんの畑)



第3滑走路・B^{ラン}再北 延伸狙う4者協議弾劾

9月17日、千葉市内のホテルで、第3滑走路推進にむけた「4者協議会」が開かれました。4者とは、国土交通省、成田空港会社（NAA）、千葉県、地元9市町です。

この場で、第3滑走路の建設に向けて、NAA内に推進本部を設け、具体案の検討を行うことを決めました。

「空港間競争に勝ち抜くためには第3滑走路が必要」（夏目誠NAA社長）など、立ち退きや騒音で被害を受ける住民を無視した「金もうけ主義」の発言が飛び交いました。

50年前の過ちをくり返させるわけにはいきません。国交省、NAA、千葉県などは第3滑走路絶対反対の住民の怒りを恐れています。今こそ声をさらに強く上げる時です。



千葉市幕張のホテルで行われた4者協議会（9月17日）

許せないのは、B滑走路の1000^m再北延伸と深夜早朝便のさらなる規制緩和も議題になっていることです。すべて航空会社、LCC（格安航空会社）の言いなりです。住民の睡眠と健康は2の次、3の次。デタラメな「4者協議会」をやめさせなければなりません。反対同盟は宣伝カーを展開し、会場である幕張のホテルの周辺で弾劾のアピールを行いました。

9・14
千葉地裁

市東さんの耕作権裁判闘う



弁論の後に開かれた裁判の報告会
（9月14日 千葉県弁護士会館）

市東さんの農地をめぐる、最高裁での農地法裁判とは別に耕作権裁判が千葉地裁で闘われています。こちらはNAAが、「不法耕作だ」と決めつけて、明け渡しを求めている裁判ですが証拠の偽造などが明らかになり、市東さん側が主導権を握って闘っています。9月14日、再開第2回目の弁論を闘い、「NAAの買収が違法だからNAAには地主の権利はない。提訴自体が無効だ」と証拠を突きつけ、NAAを追いつめました。

国会前と呼応し 京成成田で街宣

8・30「安保法許すな」

「戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会」が呼びかける「国会前10万人・全国100万人大行動」に呼応して、反対同盟も8月30日、京成成田駅頭でレートーク、メッセージボードを掲げるスタンディングを行いました。(写真上)

時折小雨がちらつく中、午後1時30分から伊藤信晴さんや宮本麻子さん、そして



国会前で、辺野古基地工事再開に抗議するヒューマンチェーンを闘った(9月12日)



支援の仲間がマイクを握り、口々に戦争法案の強行を策動する安倍政権を弾劾しました。

そして「市東さんの農地を守ろう」と訴え、5万人署名への協力を呼びかけました。午後3時、この日2回目のスタンディングでは太郎良陽一さんのシュプレヒコールのリードに合わせ市東孝雄さんや萩原富夫さんを中心に、「安倍の戦争政治を許さないぞ！」の声を響かせました。

辺野古基地反対で国会 包囲の人間の鎖行動

9月12日には、沖縄辺野古基地の工事再開に抗議する国会包囲のヒューマンチェーン行動に参加し、沖縄をはじめとする2万2000人とつながりました。

群馬で市東さんの農地を守る集会



群馬県高崎市で行われた市東さんの農地を守る集会(9月13日)

9月13日、高崎市労使会館で「原発・TPP・改憲反対、市東さんの農地を守ろう／大地は私たちの命9・13群馬集会」が開かれました。

県内の闘う運動団体、労働組合、議員などがあいさつに立ち、三里塚連帯の気概を表しました。遠路駆けつけた市東さんは、緊急5万人署名と、10・11全国集会への大結集を訴えるとともに、勝利の決意を語りました。

地域住民の声

成田～芝山～多古～

成田市旧下総町、旧大栄町の住民から意見を頂きました。小作人に無断での農地売買への怒り、空港反対運動50年の歴史に対する感想などを語って頂きました。

小作人に無断での農地売買などとんでもない

旧下総町・自営業（男性）

仕事から、農民の開墾の苦勞はよく知っている。自分は農家じゃないけれど並大抵の苦勞じゃないことは、昔知り合いがいたんでよく分かる。そういう農地を小作だからと言って、耕作者に無断で売り買するなんてとんでもない話だよ。地主も地主だし、空港公団も空港公団だ。市東さんを応援していきたい。

北原事務局長の著書『大地の乱』を読んで

旧大栄町・元会社員（男性）

数十年前にこちらに引っ越してきたけど、原発問題で抗議行動に行くようになる前は、すぐ近くなのに、空港反対闘争への関心が薄かった。でも故萩原事務局次長の著書『農地収奪を阻む』を読んで、国策に反対し続ける農民の気持ちが少しは理解できる気がした。今回、成田図書館に行って北原敏治事務局長の著書『大地の乱——成田闘争』を読んでさらに感動した。

北原さんの戦争体験から始まる国への怒りが、来年50年を迎えようとする空港反対運動の原点なんだな、ということがとてもよく理解できた。なぜこれほどまでに国のやることに抵抗するのか、著書を読むと国のひどさ、地域住民への裏切りのひどさがよく分かった。そういう点で、安保法案の問題や辺野古基地の問題と同じだと思うし、最近、高速道で強制収用が行われている九州・福岡のミカン農家の問題と共通するものであることが実感できる。

5万人署名・賛同人運動が前進

5万人署名運動の賛同人になってくれた人への情報提供として発行が始まった「緊急5万人署名賛同ニュース」（9月4日創刊）



8月23日から本格的に開始した最高裁5万人署名・賛同人運動が前進しています。署名は3000人に届こうとしています。賛同人は団体が36、個人が91人です。新たに始めた賛同人運動で成果が上がり、空港周辺地域の方々からも多数頂いています。また労組、国会前行動に立ち上がった人びとなどの協力が広がっています。この運動を拡大するため、反対同盟は9月4日に「緊急5万人署名賛同ニュース」を創刊しました。一層のご支援をお願いします。